

TOPIC 『令和7年度 歯科地域連携学術講演会』開催のご報告

令和8年3月8日（日）、和泉市歯科医師会との共催による『令和7年度 歯科地域連携学術講演会』を開催いたしました。21名の歯科医師、歯科衛生士および医療関係者の方にご参加いただきました。お忙しい中、ご参加くださいました皆様には心より御礼申し上げます。

当日は、内分泌・糖尿病内科顧問 大野 恭裕より『糖尿病と歯周病 ～医科歯科連携を考える』について講演を行い、その後『日常生活での気づきと連携』をテーマにグループワークを行いました。

講演会の開催を通して地域の先生方や多職種の皆さまに当院の取り組みを知っていただき、より良い連携を目指し、患者様第一の医療を提供するために精進していく所存です。

至らない点があるかとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



内分泌・糖尿病内科
特別顧問 大野 恭裕



和泉市歯科医師会
会長 上嶋 一之 先生



グループワークの様子

地域連携センターだより

2026年4月 増築棟(アネックス)オープン



TOPIC 骨塩定量検査 の検査予約を承っております

診察・検査予約依頼書の□骨塩定量（身長： cm / 体重： kg）に☑し、身長と体重を記入後、FAXいただければ予約票を返信させていただきます。



検査日時：月～金曜日 9：00～16：00

お好きな時間に8番地域連携センターにお越しください。

4月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



地域連携センター
予約受付時間

和泉市立総合医療センター 地域連携センター
月～金曜日 9：00～19：00まで
土曜日 9：00～13：00まで
(但し祝日・年末年始の休日は除く)
TEL: 0725-41-3150 (直通)
FAX: 0725-41-2513 (直通)

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター

電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



新年度のご挨拶



総長 光富 徹哉

新年度を迎え、先生方にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より当院の診療ならびに地域医療連携に格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

本年、当院ではアネックス棟が完成し、去る3月15日に竣工式を執り行いました。がん診療および呼吸器・難病医療を重点領域と位置づけ、30床の新化学療法室を整備するとともに、ICUを14床体制へ拡充し、検診センターの整備等も行いました。二次予防から高度急性期医療、専門治療まで、切れ目のない医療提供を可能とする体制を整えました。これらは単なる施設整備にとどまらず、「泉州地域の皆さんの生命（いのち）と健康を守るために最善最適な医療を提供します」という当院のミッションを具体的に形にしたものと考えております。

2026年度診療報酬改定や、近畿大学病院の移転など、医療を取り巻く状況も変化しております。さらに医療資源が再編される時代において、当院は急性期基幹病院としての役割をより明確にしていく必要があります。また、今後設立が予定されている地域医療連携推進法人の枠組みも見据え、地域の医療資源を有

効に活用しながら機能分担と連携をさらに具体化していくことが重要であると考えております。こうした取り組みは、地域全体として持続可能な医療提供体制を築くことを目的とするものです。

この冬のオリンピックにおける日本人選手の挑戦、そして最近のWBCでの侍ジャパンの結末は、個の力を高めながら組織として成果を生み出すことの大切さを改めて示しました。地域医療においても同様に、それぞれの医療機関が専門性を発揮しながら連携することで、地域住民により良い医療を届けることができます。当院単独で完結する医療は存在しません。先生方との信頼に基づく連携こそが、地域住民の生命と健康、そして安心を支える基盤であると考えております。

本年度も、先生方との対話を大切にしながら、顔の見える地域医療連携をさらに深化させてまいります。当院のミッションのもと、泉州地域の医療を、先生方とともに支えてまいりますと考えております。今後とも何卒よろしくごお願い申し上げます。

令和8年4月 入職常勤医師

皮膚科	まつもと 松本 大 介
脳神経内科	みちうら 道浦 徹
脳神経内科	さかまき 酒巻 将 太
脳神経外科	はまだ 濱田 有 深
泌尿器科	みやわき 宮脇 文 香
肝胆膵外科	くしやま 櫛山 周 平
肝胆膵外科	なかにし 中西 紘 一
病理診断科	さかいだ 坂井田 美 穂
呼吸器外科	おいき 老木 華
呼吸器外科	いとう 伊藤 正 興
循環器内科	かじお 梶尾 剛
肝胆膵内科	りんか 林下 晃 士
小児科	あかい 赤井 結 衣
小児科	やまもと 山本 な ぎ さ
消化器外科	いせき 井関 康 仁
消化器外科	にかいどう 二階堂 早 央 里

呼吸器内科	いし い 石井 真 梨 子
呼吸器内科	つかもと 塚本 遥 香
呼吸器内科	こばやし 小林 正 典
呼吸器内科	もりや 森谷 亜 理 紗
血液・腎臓内科	はしもと 橋本 友 里
耳鼻いんこう科	やすば 安場 雅 高
整形外科	きりひが 切東 良 介
内科	なかや 仲谷 治 樹
初期研修医	いちばら 市原 亜 美
初期研修医	たなか 田中 翔 大
初期研修医	ほりうち 堀内 菜 津 女
初期研修医	しらつち 白土 涼 乙
初期研修医	なかた 中田 朝 陽
初期研修医	つづき 都築 賢 二 郎
初期研修医	すやま 須山 耀 介

令和8年3月末 退職常勤医師

皮膚科	あまつ 天津 優 紀 恵
消化器内科	すぎうら 杉浦 麻 由 子
消化器内科	すぎもり 杉森 啓 伸
消化器内科	かわさき 川崎 雄 平
小児科	すえざわ 末澤 理 玖
小児科	きよはら 清原 華 也
泌尿器科	みつはし 三橋 勇 人
肝胆膵外科	わたなべ 渡邊 元 己
肝胆膵外科	のざわ 野沢 彰 紀
呼吸器外科	さと 佐藤 克 明
循環器内科	ふじわら 藤原 良 亮
循環器内科	じょうぐ 浄弘 祐 介
肝胆膵内科	じょうむら 城村 星 亜

整形外科	かくた 角田 彰 宏
呼吸器内科	かどたに 門谷 英 昭
血液・腎臓内科	あさくら 朝倉 崇 博
リウマチ・膠原病内科	ほしの 星野 真 理 子
消化器外科	ゆきもと 雪本 清 隆
総合診療科	きた 北 嘉 昭
初期研修医	いなおか 稲岡 宏 幸
初期研修医	うちだ 内田 美 紀
初期研修医	たなか 田中 宏 樹
初期研修医	か 加 竜 船
初期研修医	くろまつ 黒松 俊 吾
初期研修医	まつだ 松田 拓 登

新年度のご挨拶



病院長 松下 晴彦

桜花爛漫の候、先生方におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より当院の診療・地域連携に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、かねてよりご案内してまいりました増築棟が完成し、令和8年4月に「アネックス」としてオープンいたします。アネックスには、がんセンター・難病センター・呼吸器センターの外来機能に加え、外来化学療法、集中治療部門、健診部門を集約し、動線の整理による待ち時間の軽減、検査・診察の円滑化、感染対策を含む安全性の向上を図ります。

特に集中治療室は増床により、救急・重症患者の受け入れ体制を一層強化いたします。また外来化学療法は、就労等との両立支援の要として、患者さんが安心して治療を継続できる環境整備を進めてまいります。健診部門についても、受診ニーズの高まりに応え、利便性と対応力の向上を図りたいと考えています。

一方、本館では歯科口腔外科および透析センターの機能充実を進めており、改修工事は8月末までを予定しております。引き続きご不便をおかけする場面もございますが、安全を最優先に、診療への影響を最小限とするよう努めます。

急性期病院の真価は、高い専門性に加え、幅広い疾患に対応できる総合力にあると考えております。当院は35診療科の連携により、複数の疾患を抱える高齢患者さんにも切れ目ない医療を提供してまいります。ご紹介いただいた患者さんを適切なタイミングで先生方へお戻しできるよう、逆紹介の推進と情報提供の充実にも力を入れてまいります。

新年度も地域の先生方とより緊密に連携し、安心してご紹介いただける病院であり続けられるよう職員一同取り組んでまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく御礼申し上げます。

新年度のご挨拶



特任病院長 西岡 伯

平素より、当院の医療提供体制に対し、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

近年、少子高齢化や医療・介護需要の変化など、私たちを取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。そのような状況下において、当院では引き続き「地域に根ざした質の高い医療の提供」を使命とし、地域医療・介護機関の皆さまと共に、住民の皆さまに安心と信頼をお届けできる医療体制の強化に取り組んでまいります。中でも、在宅医療ニーズの高まりにより、病院だけで完結する医療から、地域全体で支え合う包括的な医療・介護体制の構築は、最も重要な課題の一つと考えております。

具体的には、かかりつけ医の先生方との連携強化、在宅復帰に向けた調整、退院後の訪問看護や介護サービスとの橋渡しなど、患者

さま一人ひとりの状態やご家族のご希望に寄り添いながら、最適な支援を提供できるよう努めております。また、患者さまに安心して療養いただくためには、医療・介護従事者間の円滑な情報共有と信頼関係が不可欠であると考えており、その架け橋となるべく日々努力してまいります。

地域医療・介護機関の皆さまには、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご発展とご健勝を心よりお祈り申し上げ、新年度のご挨拶とさせていただきます。